

内部質保証に係る令和6年度自己点検・評価報告書

令和7年9月

国立大学法人富山大学

目次

1. 概要	3
2. 令和6年度自己点検・評価結果	
(1) 教育課程分野	6
(2) 教職課程分野	16
(3) 学生支援分野	20
(4) 学生受入分野	22
(5) 施設分野	31
(6) I C T分野	32
(7) 図書館分野	33
(8) 研究活動分野	34
(9) 教育の国際化分野	35
(10) 地域貢献活動分野	36
3. 令和6年度改善計画	
(自己点検・評価の結果、要改善とされた事項に対する改善計画)	
(1) 教育課程分野	37
(4) 学生受入分野	38
4. 過年度改善計画の進捗状況報告	
(前年度以前に、要改善とされ改善計画を作成した事項の進捗状況報告)	
(4) 学生受入分野	39

1. 概要

○目的

大学は、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表しなければならないとされています（学校教育法第109条第1項）。

※「内部質保証」とは、大学が自律的な組織として、その使命や目的を実現するために、自らが行う教育及び研究、組織及び運営、ならびに施設及び設備の状況について継続的に点検・評価し、質の保証を行うとともに、絶えず改善・向上に取り組むことを指す

（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「教育の内部質保証に関するガイドライン」より）

○実施方法

各内部質保証分野（教育課程、教職課程、学生支援、学生受入、施設、ICT、図書館、教育の国際化、研究活動、地域貢献活動）において定めた項目について、自己点検・評価を行い、その結果及び改善計画について計画・評価委員会及び教育研究評議会において検証した。

なお、点検項目は大学機関別認証評価における大学評価基準及び本学独自の項目である。

○自己点検・評価結果（全体総括）

令和6年度の自己点検・評価において、各分野の実施要領に基づき、推進責任者の下で適切に実施されていること及び自己点検・評価の結果、（1）教育課程分野及び（4）学生受入分野の一部の評価項目を除き、評価基準を満たしていることを確認した。改善が必要と確認された事項についても検討または対応に着手し、改善に取り組んでいる。

令和5年度に改善を要する事項として改善計画を作成した事項「実入学者が定員を大きく上回っているため、適正化を図る取組を行う必要がある。【持続可能社会創成学環、医薬理工学環】」については、大学院教育の更なる充実と入学定員の適正化を図るため、大学院全体の入学定員を見直し、令和8年度からの入学定員の増員に向けて改善を図っている。

【要改善事項】

（1）教育課程分野

○教育課程の編成が、一部部局において体系性を有していない。

○成績に対する異議申立てに対し、一部部局において組織的に検証できる状況になっていない。

（4）学生受入分野

○実入学者が定員を大きく上回っているため、適正化を図る取組を行う必要がある。【総合医薬学研究科（博士後期課程）、医薬

理工学環（博士前期課程、博士後期課程）】

〔内部質保証体制（概念図）〕



○関係規則

- ・国立大学法人富山大学における内部質保証に関する規則

[教育課程分野]

- ・富山大学における教育課程、教職課程、学生支援及び学生受入に関する分野の内部質保証実施要領
- ・富山大学教育・学生支援機構における内部質保証実施手順

[教職課程分野]

- ・富山大学における教育課程、教職課程、学生支援及び学生受入に関する分野の内部質保証実施要領（再掲）
- ・富山大学教育・学生支援機構における内部質保証実施手順（再掲）

[学生支援分野]

- ・富山大学における教育課程、教職課程、学生支援及び学生受入に関する分野の内部質保証実施要領（再掲）
- ・富山大学教育・学生支援機構における内部質保証実施手順（再掲）

[学生受入分野]

- ・富山大学における教育課程、教職課程、学生支援及び学生受入に関する分野の内部質保証実施要領（再掲）
- ・富山大学教育・学生支援機構における内部質保証実施手順（再掲）
- ・富山大学における入学試験委員会で実施する学生受入に関する分野の内部質保証実施要領
- ・富山大学における大学院入学試験委員会で実施する学生受入に関する分野の内部質保証実施要領

[施設分野]

- ・国立大学法人富山大学における施設分野の内部質保証実施要領

[ICT 分野]

- ・国立大学法人富山大学における ICT 分野の内部質保証実施要領

[図書館分野]

- ・国立大学法人富山大学における図書館分野の内部質保証実施要領

[研究活動分野]

- ・国立大学法人富山大学における研究活動分野の内部質保証実施要領

[教育の国際化分野]

- ・富山大学における教育の国際化に関する分野の内部質保証実施要領

[地域貢献活動分野]

- ・国立大学法人富山大学における地域貢献活動分野の内部質保証実施要領

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項, 優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-1	学位授与方 針、教育課程 方針に関する こと。	学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ 明確に策定していること	機関別認証評価 受審前年度 及び変更時	なし		・3つのポリシー ・DPで定める学生が身に付ける能力と授業科目 との対応表
1-2		教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員 が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教 育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成 果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	機関別認証評価 受審前年度 及び変更時	なし		・3つのポリシー ・DPで定める学生が身に付ける能力と授業科目 との対応表
1-3		教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	機関別認証評価 受審前年度 及び変更時	なし		・3つのポリシー ・DPで定める学生が身に付ける能力と授業科目 との対応表
1-4	教育課程の編 成、授業科目 の内容に関する こと。	教育課程の編成が、体系性を有していること	毎年度	あり	【要改善事項】 （人文学部）各学位授与方針で定めら れた身に付ける能力と授業科目との関 連を示した対応表を作成しているが、 人文学部として科目ナンバリングコー ドを付番できていない科目がいくつか 存在する。 【優れた取組・成果等】 （医学部）医学科では、令和6年度入 学生以降のカリキュラムに関して、新 たに各授業科目を分野ごとに7つのユ ニットに分類し、体系性と順序性に基 づいた科目配当とした。	・履修の手引き ・カリキュラムマップ ・DPで定める学生が身に付ける能力と授業科目 との対応表
1-5		授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっ ていること	毎年度	なし		・シラバス作成マニュアル ・シラバスチェックシート ・シラバス ・学部規則

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】理事・副学長（教育担当）

【推進組織】教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-6	教育課程の編成、授業科目の内容に関する こと。	他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	機関別認証評価 受審前年度 及び変更時	なし		・学則、大学院学則 ・各学部等規則 ・各学部等における既修得科目の単位認定における規則
1-7		大学院課程（専門職学位課程を除く。）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む。）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という。）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	毎年度	なし		・研究実施予定表 ・研究指導計画書
1-8		専門職大学院又は専門職学科を設置している場合は、法令に則して、教育課程が編成されるとともに、教育課程連携協議会を運用していること	毎年度	なし		・教職実践開発研究科履修の手引き ・富山大学大学院教職実践開発研究科教育課程連携協議会設置要項 ・教育課程連携協議会議事要旨 ・教職実践開発研究科時間割
1-9	授業形態、学修指導法に関する こと。	1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	毎年度	なし		・学年暦
1-10		各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	毎年度	なし		・学年暦 ・シラバス作成マニュアル ・シラバスチェックシート ・シラバス
1-11		シラバスに授業名、担当教員名、授業の目的・到達目標、授業形態、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記載され、学生に対して明示されていること	毎年度	なし		・シラバス作成マニュアル ・シラバスチェックシート ・シラバス

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-12	授業形態、学 修指導法に関 すること。	教育上主要と認める授業科目は、原則として基幹教員が 担当していること	毎年度	なし		・富山大学における主要授業科目の定義 ・各学部規則、教養教育履修規則 ・シラバス ・教育研究組織及び業務研究組織への配置
1-13		専門職大学院においては、履修登録の上限設定の制度 （CAP制度）を設けていること	機関別認証評価 受審前年度及び 変更時	なし		・富山大学大学院教職実践開発研究科規則
1-14		大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14 条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業 を行っている場合は、法令に則した実施方法となっている こと	機関別認証評価 受審前年度及び 変更時	なし		・各研究科等規則
1-15		薬学部においては、必要な施設を確保し、薬学実務実習 を実施していること	機関別認証評価 受審前年度及び 変更時	—		—
1-16		教職大学院においては、連携協力校を確保していること	機関別認証評価 受審前年度及び 変更時	—		—
<u>1-17</u>		夜間において授業を実施している課程を置いている場合 は、配慮を行っていること	機関別認証評価 受審前年度及び 変更時	なし		・時間割 ・シラバス
<u>1-18</u>		全学生を対象として単位の過剰登録を防ぐための取組が 行われていること（CAP制を採用している場合は、その上 限が適切に設定されていること。）。	変更時	なし		・履修登録単位数の上限に関する内規 ・履修に関する取り扱いについて
<u>1-19</u>		授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ ディベロップメント（FD）を組織的に実施しているこ と	毎年度	なし		・富山大学におけるFD活動報告書

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-20	授業形態、学 修指導法に関 すること。	教育活動を展開するために必要な教育支援者や教育補助 者が配置され、それらの者が適切に活用されていること	毎年度	なし		・富山大学指導補助者に関する規則、富山大学 ティーチングアシスタント取扱要項 ・TA雇用計画 ・ティーチングアシスタント一覧、遠隔授業補 助者リスト
1-21		教育活動を展開するために必要な教育支援者や教育補助 者が担当する業務に応じて、研修の実施など必要な質の 維持、向上を図る取組を組織的に実施していること	毎年度	なし		・ティーチングアシスタント事前研修用資料 ・遠隔授業補助説明資料
1-22		多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室 等以外の場所で履修させる授業は、対面授業に相当する 授業効果を有すると認められること	毎年度	なし		・メディア授業科目一覧 ・富山大学における多様なメディアを高度に利 用して行う授業に関する要項
1-23	履修指導、学 習支援に関す ること。	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整 備し、指導、助言が行われていること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 （教育学部）指導教員体制の他、ユ ニット制とすることで、4年一貫の支 援体制を整えている。 （芸術文化学部）指導教員体制につい て、専門領域の方針に基づく教育指導 や修学指導を行うため、2年次以降は学 生が希望した教員を選択できる制度 （GPA等による調整あり）としている。 （教養教育院）英語のクラス編成につ いて、習熟度別編成を導入することで 学生のスキルに応じた授業運営・指導 を行っている。その結果、12月に実施 したTOEIC-IPテストでは全体の平均点 で約11%向上した。	・履修指導の実施状況 ・指導教員との面談実施状況 ・指導（助言）教員一覧 ・なるためノート ・履修の手引き、キャンパスガイド

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】理事・副学長（教育担当）

【推進組織】教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-24	履修指導、学 習支援に関す ること。	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助 言、支援が行われていること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 (教育学部) 指導教員体制の他、ユ ニット制として4年一貫の支援体制を 整えている	・学習相談の実施状況 ・シラバス（オフィスアワーの設定） ・指導教員との面談実施状況 ・なるためノート ・履修の手引き、キャンパスガイド
1-25		社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組 を実施していること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 (全学) ・インターンシップを中心とする ENGINE教育プログラムでは、令和6年 度修了者として本学から10名輩出して いる。 (教育学部) 「新たな教育的課題に適 切に対応できる実践力のある教育人材 を養成」することを目的として、「学 校体験活動」や「子どもとのふれあい 体験」といった学校等の現場体験を1年 次の早期から行っている。 (芸術文化学部) 実際の社会的課題を テーマとして、地域の職業人や関係者 との協働により実践的学習を行う「プ ロジェクト授業」「地域連携授業」を 積極的に開講している。学部独自の5 日間の就業体験プログラムを実施して いる。 (教養教育院) ・新入生に向けて、自身の将来を考え るにあたって役立ちそうな本等、ぜひ 読んでもらいたい本として教養教育院 所属教員が選定した図書を、教養教育 院公式ウェブサイトで紹介している。	・社会的・職業的自立を図るために必要な能力 を培う取組 ・インターンシップ・キャリアスタディ実施状 況 ・プロジェクト授業・地域連携科目一覧 ・インターンシップ実施要項 ・大学院派遣事業募集パンフレット

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-26	履修指導、学 習支援に関す ること。	障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要 する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	毎年度	なし		・履修上特別な支援を要する学生に対する学修 支援の状況 ・チューター一覧、チューター業務状況一覧 ・ノートテイクの概要について ・メンター面談実施要領
1-27	成績評価に関 すること。	成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して 定められている学習成果の評価の方針と整合性をもつ て、組織として策定していること	毎年度	なし		・富山大学GPA制度に関する規則 ・富山大学授業に関する要項
1-28		成績評価基準を学生に周知していること	毎年度	なし		・キャンパスガイド ・履修の手引き ・ウェブサイト https://www.u-toyama.ac.jp/student-support/course/class/
1-29		成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が 厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に 確認していること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 (教養教育院) 成績評価分布を点検し た結果、大幅に偏っている授業科目に ついて、教養教育院長は当該科目の授 業担当教員に評価基準を確認する等、 組織的に成績評価が厳格かつ客観的に 実施されるよう取り組んでいる。	・成績評価の分布表 ・各部局における成績評価分布の目標
1-30		成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	毎年度	あり	【要改善事項】 (教育学部) 「国立大学法人富山大学 法人文書管理規則の標準文書保存期間 基準について」に基づき、各教員には 適切な保存を依頼しているが、成績評 価の根拠となる資料（答案、レポート、 出席記録等）が、組織的に検証でき る状況ではないため、早急に体制整 備を行うことが必要	・成績評価に対する異議申立てに関する申合せ ・「成績評価に対する異議申立てについて」 (通知) ・学生の成績評価における根拠資料の取扱いに 関するガイドライン
1-31	卒業（修了） 判定に関する こと。	大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了 の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的 に策定していること	毎年度	なし		・各学部等規則 ・履修の手引き

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】理事・副学長（教育担当）

【推進組織】教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-32	卒業（修了） 判定に関する こと。	大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文評価基準」という。）を組織として策定していること	毎年度	なし		- 学位論文審査及び最終試験実施要項 - 学位論文（審査）取扱内規 - 教職実践開発課題研究に関する要領 - 学位論文に係る評価基準
1-33		策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知していること	毎年度	なし		- 履修の手引き - ウェブサイト https://www.u-toyama.ac.jp/outline/information/education-act/dissertation/
1-34		卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）に則して組織的に実施していること	毎年度	なし		- 各学部等教授会議事要旨 - 代議員会[又は部会]議事要旨 - 学位論文評価基準 - 学位論文の審査に関する申合せ
1-35	学修成果に 関すること。	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	毎年度	なし		- 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率 - 資格取得状況
1-36		就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 (教職実践開発研究科) ストレートマスター全員が教員として就職している。（教員就職率100%）	- 就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況 - 卒業・修了者の進路状況
1-37		卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	毎年度	なし		- 卒業時調査報告書 - 修了時アンケート
1-38		卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	3年度に1回 (1年目)	—		

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-39	学修成果に関 すること。	就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	6年度に1回 (1年目)	—		
1-40		在学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 (全学) ・各学期の2～3回目の授業で、Moodleでの授業評価プレアンケートを行い、学生の意見を早い段階で授業に反映させる仕組みを実施し、その後の授業の改善と授業満足度の向上を図っている。 (教養教育院) ・毎年度、「学生による授業評価アンケート実施結果に基づく教育改善報告書」を作成している。報告書ではアンケート結果に基づく改善への取組み等が記載され、学生向けにMoodleコースへの掲載のほか、デスクネッツNEO及び教養教育院WEBサイトに掲載することで、授業改善・学習成果の向上に努めている。 ・教養教育院紀要編集委員会主催で、『富大1年生255名のリアルな声と座談会から見るキャンパスライフ～授業・アクティブラーニング・サークル・楽しみなどの本音に迫る～』と題してアンケートの実施及び2024年11月20日に座談会を開催し、学生からの意見を聴取した。	・授業評価アンケート ・DP達成度調査 ・修了時アンケート

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）
【推進組織】 教育・学生支援機構 教育推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項，優れた取組・成果等)	根拠資料等
1-41	学修成果に関 すること。	大学教育改革に向けた取組を実施していること（学習成 果の可視化について）	毎年度	なし		・積算能力評価（レーダーチャート） ・授業プログラム履修証明書 ・各種教育プログラムの修了書 ・経済学部アドバンスト・プログラムに関する 規則

※No. に下線を付した項目は、「富山大学における教育課程、教職課程、学生支援及び学生受入に関する分野の内部質保証実施要領」別表2において、推進責任者が指示する評価基準を示す

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 データサイエンス推進センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
1-42	学修成果に関 すること	「富山大学におけるデータサイエンス基本方針」に基づき、データサイエンス教育の推進を図るとともに、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の自己点検・評価を行い、その結果を踏まえた教育プログラムの改善を行っていること。 ＜評価の観点＞ 以下の項目を踏まえた自己点検・評価を実施していること。 ・ 教育プログラムの履修・修得状況、学修成果 ・ 学生アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度に関する事項 ・ 全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況 ・ 教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価に関する事項 ・ 産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」について、毎年度自己点検・評価を行い、改善を行っている。また自己点検・評価結果をウェブサイト公表している。 本プログラムは文部科学省の認定を受けているが、「認定の期限が令和7年度末で切れること」「令和8年度から教養教育科目が刷新されること」から、これまでの点検結果も踏まえ、令和7年度中に新しいプログラムについて検討する予定である。	・ 令和5年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」自己点検・評価結果 ・ 令和6年度データサイエンス推進計画工程表進捗状況報告書	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(2) 教職課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教員養成担当）
【推進組織】 教育・学生支援機構 教職総合支援センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
2-1	教職課程に関 すること。	教職課程が法令の基準に沿って適切に運用され、また本学の教員養成の目標に照らして成果を上げていること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 教職課程が法令の基準に沿って開設されていることを確認すると共に、大学全体及び教職課程を有する各学部・大学院研究科では、それぞれのディプロマポリシーに基づいた教員養成の目標を掲げ、目標を達成するように計画が立てられていることを確認した。 令和6年度卒業生について、158人が大学を通じて教員免許状を申請・取得した。また、免許状申請者を対象としたアンケートによると、教員に必要な資質に関する項目では、8項目中7項目において身に付けることができたという回答が90%を超えていることを確認した。	・教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画 （* 富山大学ウェブサイト「教員の養成の状況についての情報」 https://www.u-toyama.ac.jp/outline/information/teacher-training/に掲載） ・教育方針 三つのポリシー （https://www.u-toyama.ac.jp/outline/3policy/policy/） ・令和6年度教員免許状取得状況調査	
上記のほか、推進責任者が指示する評価基準について、教育職員免許法施行規則第22条の8による教職課程の自己点検・評価として「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン」（令和3年5月7日、教職課程の質保証のためのガイドライン検討会議）に基づき評価項目を設定のうえ、別紙のとおり実施した。							

中項目	小項目		点検の観点	実施時期	点検結果 (要改善事項の有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
②授業科目・教育課程の編成実施	1.	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか等	毎年	無	教職専門科目の開設方法は法令に適合している。また、教員養成を目的とする教育学部とその他の学部での教職課程において共通に開設する授業科目も設定されており、教育学部が持つ強み・特色を生かした実施体制を構築していることを確認した。	・教職課程認定申請書 ・変更届（令和6年度のカリキュラム） ・2024年度授業科目及び担当教員名（*） （*）富山大学ウェブサイト「教員の養成の状況についての情報」に掲載 https://www.u-toyama.ac.jp/outline/information/teacher-training/	
②授業科目・教育課程の編成実施	3.	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応に必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか等	4年に1度 （2年目）	無	（教職総合支援センター） 法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応に必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られていることを確認した。 （教育学部） 「豊かな人間性と社会性、教育への情熱と使命感を持ち、教科や教職に関する専門知識と技能を身に付け、新たな教育的課題に適切に対応できる実践力のある教育人材を養成すること」を目的としており、教員として必要な幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に教育課程を編成している。	・教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画 ・カリキュラムマップ ・3つのポリシー ・各学部履修の手引き ・各学部等規則	
②授業科目・教育課程の編成実施	4.	ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要なICT活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか等	4年に1度 （2年目）	無	教育学部では、1年次に「基礎ゼミナール」にて情報機器類の活用やデータサイエンスについて学び、2年次には「小学校プログラミング教育の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」や各教科の指導法の中でAIやICT活用指導力について学びを深めていく。さらに3年次には「教育技術学」や「遠隔教育実践論」などの科目を履修し、教育データを活用した指導や情報活用能力の育成なども含めて、より横断的な学生のICT活用指導力を深めている。加えて、ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての科目を専門科目に必修科目として設置するなど、体系性のある教職課程となっている。	・教育学部卒業要件等（履修ハンドブック抜粋） ・シラバス「基礎ゼミナール」 ・シラバス「小学校プログラミング教育の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」 ・シラバス「教育技術学」 ・シラバス「遠隔教育実践論」	
②授業科目・教育課程の編成実施	5.	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・履修登録単位数の上限に関する内規 ・履修に関する取り扱いについて ・富山大学大学院教職実践開発研究科規則	
②授業科目・教育課程の編成実施	7.	個々の授業科目の到達目標の設定状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか等	4年に1度 （2年目）	無	教職専門科目の令和6年度シラバスを確認し、法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られていることを確認した。	令和6年度シラバス	
②授業科目・教育課程の編成実施	8.	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に記載されているか	4年に1度 （2年目）	無	令和6年度シラバスを確認し、教職専門科目のシラバスが適切に作成されていることを確認した。	令和6年度シラバス	

中項目	小項目		点検の観点	実施時期	点検結果 (要改善事項の有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
②授業科目・教育課程の編成実施	9.	アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらし工夫が行われているか等	4年に1度 (2年目)	無	教育学部が開講する「教育技術学」では、ICTを利用した教育方法改善などについての学びを行っている。また、各教科の指導法においても、iPad等のタブレット端末を利用することで、動画記録を元にした振り返りや課題の共有などをおとし、学びを深める工夫を行うとともに、教科指導に対しどのようにICTを活用していくかについての指導を行っている。	・シラバス「教育技術学」 ・シラバス「理科教育法Ⅲ」 ・シラバス「初等体育科教育法Ⅰ」 ・シラバス「初等図画工作科教育法Ⅰ」	
③学修成果の把握・可視化	1.	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・富山大学GPA制度に関する規則 ・キャンパスガイド2024	
③学修成果の把握・可視化	2.	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・成績評価の分布表 ・各部局における成績評価分布の目標	
③学修成果の把握・可視化	4.	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・成績評価の分布表 ・各部局における成績評価分布の目標	
④教職員組織	1.	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか等	毎年	無	学務部学務課は、全学の教員養成課程を統括し、人社系学務課は、人文学部、教育学部、人文社会芸術総合研究科、教職実践開発研究科について、芸術系総務・学務課は、芸術文化学部について、理工系学務課は、理学部、工学部、都市デザイン学部、理工学研究科について教職課程の事務を所掌している。それぞれの部署には複数人の教職課程に関する知識を有した事務職員が配置されていることを確認した。	・富山大学事務組織規則 ・事務組織図 (https://www.u-toyama.ac.jp/wp/wp-content/uploads/06_outline2024.pdf) ・事務職員数	
④教職員組織	3.	教員の配置の状況	教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足しているか等	毎年	無	教職課程認定基準で定められた必要な教職専任教員が配置できていることを確認した。	・令和6年度教職課程認定申請書 ・令和6年度からのカリキュラムの変更届	
④教職員組織	5.	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか等	教育課程の内部質保証において実施	無	各学期の2～3回目の授業で、Moodleでの授業評価プレアンケートを行い、学生の意見を早い段階で授業に反映させる仕組みを実施し、その後の授業の改善と授業満足度の向上を図っている。	・授業評価アンケート	

中項目	小項目		点検の観点	実施時期	点検結果 (要改善事項の有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
⑤情報公表	1.	学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか等	毎年	無	大学のホームページのトップページから「大学紹介→情報公開」の中に教員の養成の状況についての情報として、法令に定められた情報を不足なく掲載していることを確認した。	・富山大学ウェブサイト「教員の養成の状況についての情報」（※再掲）	
⑤情報公表	2.	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか等	毎年	無	学生アンケートによると、教員に必要な資質に関する項目では、8項目中7項目において身に付けることができたという回答が90%を超えていることを確認した。	・令和6年度卒業者の教員免許状取得状況 ・令和6年度卒業者の教員への就職状況 ・令和6年度教員免許状取得者の自己評価（教員免許状取得状況調査）	
⑤情報公表	3.	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか	毎年	無	自己点検・評価に関する情報は、「大学トップページ→大学紹介→情報公開」の中に教員養成の状況についての情報において公開していることを確認した。	・富山大学ウェブサイト「教員の養成の状況についての情報」（※再掲）	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(3) 学生支援分野

【推進責任者】 理事・副学長（学生支援担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 学生支援センター会議，就職・キャリア支援センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項，優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
3-1	学生支援に関 すること。	学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制 及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備 していること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 <学生生活等支援> 学内に学生相談室、アクセシビリティ・コ ミュニケーション支援室、保健管理センター 及びハラスメント相談員を設置し、学生の生 活、メンタルヘルス、ハラスメント等に係る 相談ができる体制を整えているが、これらに 加え、令和6年10月より新たに外部相談窓口 を設置し、年中無休で電話、WEB、対面、オ ンラインといった様々な方法での相談を可能 とした体制を整えた。	1-1_保健管理センターwebページ 1-2_学生相談室パンフレット 1-3_ハラスメント相談員名簿 1-4_キャンパスガイド(学生相談室) 1-5_外部相談窓口ポスター	
					【優れた取組・成果等】 <就職等進路支援> -	①就職・キャリア支援センター利用状況 (R6.4～R7.1月分) ②就職・キャリアガイダンス等のR6年度 年間実施計画及び実施状況 ③就職・キャリア支援センター利用案内 (大学HP) ④就職・キャリア支援センター体制図 ⑤就職・キャリア支援センター相談体制 配置表 ⑥各学部就職指導担当一覧 (大学HP)	
3-2		学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われ るよう、必要な支援を行っていること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 「目に見える学生支援方策」として「課外活 動充実支援」を設け、大学祭への支援や公認 団体への物品支援、遠征時の旅費支援等の公 認団体への支援に関する経費の取扱いを整備 している。年々課外活動支援に係る予算確保 が困難なことから、昨年度設置した「課外活 動支援基金」の他、令和6年度は全国の大学 生がオンライン上で課外活動内容を発信し寄 附金を募る「Giving Campaign」イベントに 参加し、各課外活動団体が自ら寄附金を募る 体制を整えた。	2-1_令和6年度「目に見える学生支援方 策」 2-2_課外活動支援基金webページ 2-3_「Giving Campaign」webページ	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(3) 学生支援分野

【推進責任者】理事・副学長（学生支援担当）

【推進組織】教育・学生支援機構 学生支援センター会議，就職・キャリア支援センター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項，優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
3-3	学生支援に関 すること。	障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 アクセシビリティ・コミュニケーション支援室を設置し、専門のコーディネーターがトータルコミュニケーション支援と身体障害学生支援を行う体制を整えている。身体障害学生への人的支援を行う「ピアサポーター制度（学生同士の支援）」の養成を行い、障害のある学生に対するノートテイクや移動介助といった支援を行っている。実際の支援活動だけでなく、アクセシビリティリーダー育成プログラムを設けており、資格認定試験の受験資格取得及び資格取得後の実践研修の機会を提供している。 令和6年7月～8月に開催した3キャンパスにおけるオープンキャンパスでは、障害等を有する方本人やその関係者への相談窓口を設け、個別相談の対応を行った。 外部からの刺激から保護し、安心して過ごすことができる居場所としての「カームダウン・クールダウンスペース」をCTC未来財団の助成を受け、支援室前ロビー及び相談室に設置し、発達障害や感覚過敏等の特性のある学生の修学を支えるとともに、学内の環境作りや障害特性への理解・啓発活動を行った。	3-1_キャンパスガイド(アクセシ) 3-2_アクセシビリティリーダー育成プログラムパンフレット 3-3_障害等のある入学志願者の事前相談webページ 3-4障がいのある青少年に対する修学及び就労機会創出の支援事業(CTC未来財団webページ)	
3-4		学生に対する経済面での援助を行っていること	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 経済的な事情を抱えている学生に対し学生寮を提供している。 成績優秀者等の学生を対象とした「卓越した学生に対する授業料免除」の制度により、授業料免除を実施している。 「風水害等の特別枠」及び「災害対応支援金給付事業実施要項」により、被災した学生に対する入学料免除や授業料免除の特別措置及び緊急的な経済的支援のための支援金給付を行った。	4-1_学生寮webページ 4-2_キャンパスガイド(学生寮) 4-3_キャンパスガイド(奨学金) 4-4_富山大学における卓越した学生に対する授業料免除に関する内規 4-5_令和6年度能登半島地震の被害に伴う入学料免除及び授業料免除の措置について 4-6_富山大学学生に対する災害対応支援金給付事業実施要項	

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）

【推進組織】 教育・学生支援機構 アドミッションセンター会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-1	学生受入方針、学生受入に関すること。	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てていること 【評価の観点】 学生の受入状況を確認し、入学者選抜（入試広報）の改善をしているか	毎年度	なし	【優れた取組・成果等】 令和6年度入学時アンケートから、受験校を決定する際に参考にした情報源として、「高校の担任の先生」の影響度が最も高いことが判明した。そのため、高校教員対象の説明会の開催地区を、受入状況を踏まえて見直し、北陸、東海、信越、関東の14都市で実施した。その結果、実施後のアンケートにおいて、回答者の97%から「入手したかった情報が獲得できた」との回答があり、効果的な入試広報活動を行うことができた。	- 令和6年度教育・学生支援機構アドミッションセンター会議議事要録 - 令和6年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会実施報告書 - 令和6年度オープンキャンパスアンケート結果等 - 令和6年度入学時アンケート結果	

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(4) 学生受入分野

【推進責任者】理事・副学長（入試担当）

【推進組織】入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項, 優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-2	学生受入方針、学生受入に関すること。	学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること 【評価の観点】 ・「求める学生像」が明確に定められているか。また、入学前に学習しておくことが期待される内容が含まれているか。 ・「入学者選抜の基本方針」に、入学者受入方針を具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用し、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うのかについての記述が含まれているか。 ・学士課程については、受け入れる学生に求める学習成果（「学力の3要素（（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力等の能力、（3）主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）」についてどのような成果を求めるか）についての記述が含まれているか。	7年に1回 (1年目) 及び変更時	なし		・富山大学学士課程全体の3つのポリシー ・各学部の入学者受入れの方針	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）
【推進組織】 入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-3	学生受入方 針、学生受入 に関するこ と。	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること 【評価の観点】 ・入試の種類ごとに、入学者選抜の方法（学力検査、面接等）が入学者選抜の基本方針に適合しているか。 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要領、実施マニュアル等は整備されているか。 ・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等）はあるか。	毎年度	なし		・入学者選抜の方法一覧 ・富山大学入学試験委員会規則 ・富山大学入学試験委員会専門委員会運営内規 ・富山大学入試検証委員会規則 ・富山大学入学者選抜の実施に関する申合せ ・富山大学入学者選抜の試験問題作成及び点検に関する申合せ ・富山大学入学者選抜の実施に関する方針 ・令和7年度（令和6年度実施）入学者選抜における面接試験実施体制について ・令和6年度実施の入学者選抜試験における情報共有について ●令和7年度各選抜実施要項（全学、各学部） ・総合型選抜 ・学校推薦型選抜等実施要項 ・個別学力検査（前期日程等）実施要項 ・個別学力検査（後期日程）実施要項 ・各学部実施要項 ●入学者選抜に関するFDの開催について ●富山大学入学者選抜試験における入試ミスの未然防止並びに実施体制等の再確認について ・令和6年度第4回教育研究評議会資料4及び議事要旨	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）
【推進組織】 入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-4	学生受入方針、学生受入に関すること。	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学選抜の改善に役立てていること 【評価の観点】 ・入学選抜等について検証するための組織や検証方法を確認できるか。 ・学生の受入状況を検証し、入学選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等（改善のための情報収集等の取組を含む）があるか。	毎年度	なし	【優れた成果・取組等】 ・一般選抜の前期日程における学外試験場について、教育・学生支援機構アドミッションセンター等のIR分析に基づき、令和7年度入試（令和6年度実施）以降は経済学部学外試験場を廃止とした。 ・教育・学生支援機構教育・学生支援企画室において、「2016～2023年度入学生の入学時及び卒業時GPA集計結果報告」及び「2024年度入学生の入学時GPAの集計・分析を行い、その結果を教育研究評議会に報告し、今後の入学選抜の改善（入学選抜方法の変更）に役立てた。 ・入学選抜に関するFD「令和6年度入学選抜の総括及び今後の入試の在り方について」を開催し、今後の入試の在り方について検討した。	・富山大学入学試験委員会規則(再掲) ●令和6年度富山大学入学選抜試験の実施結果について ・令和6年度第1回教育研究評議会資料5及び議事要旨 ・令和6年度第1回入学試験委員会議事要録 ●経済学部の学外試験場の廃止について ・令和5年度第10回入学試験委員会資料及び議事要録 ・令和6年度第1回教育研究評議会資料6及び議事要旨 ●2016～2023年度入学生の入学時及び卒業時GPA集計結果報告 ・令和6年度第4回教育研究評議会資料6及び議事要旨 ●2024年度入学生の入学時GPAの集計・分析結果 ・令和6年度第8回教育研究評議会資料5及び議事要旨 ●入学選抜に関するFDの開催について（再掲） ●令和8年度総合型選抜医学部医学科「富山県一般枠」・学校推薦型選抜医学部医学科「地域枠」に係る出願要件・推薦要件の変更 ●令和8年度学校推薦型選抜医学部医学科「地域枠」に係る変更（予告） ・令和6年度第8回入学試験委員会資料及び議事要録 ●令和6年度入学時アンケート調査結果	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）
【推進組織】 入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項，優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-5	学生受入方 針、学生受入 に関するこ と。	実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと 【評価の観点】 ・入学者数が適正であるか。 ・実入学者数が「入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組がなされているか。 ※学生募集を行う組織単位ごとの過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均が「1.3倍以上」又は「0.7倍未満」の場合は、「大幅に超える」又は「大幅に下回る」とする。 ※実入学者数には、秋期入学者のほか、国費留学生や外国政府派遣留学生等の入学者を含める。	毎年度	なし		・別紙様式 ●令和6年度富山大学入学者選抜試験の実施結果について（再掲） ・令和6年度第1回教育研究評議会資料5及び議事要旨 ・令和6年度第1回入学試験委員会議事要録	

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）

【推進組織】 大学院入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-6	学生受入方 針、学生受入 に関するこ と。	学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること 【評価の観点】 ・「求める学生像」が明確に定められているか。また、入学前に学習しておくことが期待される内容が含まれているか。 ・「入学者選抜の基本方針」に、入学者受入方針を具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用し、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うのかについての記述が含まれているか。	7年に1回 (1年目) 及び変更時	なし		(点検内容) ・令和5年度自己点検・評価の際に、機関別認証評価の評価基準及び「三つのポリシーのガイドライン（中央教育審議会）」に照らして点検を行い、学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していることを確認している。 ・令和7年度は持続可能社会創生学環及び教職実践開発研究科においてアドミッションポリシーの一部改正を行っているが、入学者選抜方法の一部変更等によるものであり、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方が明示されていることを確認した。 (根拠資料) ・富山大学大学院全体の三つのポリシー ・各研究科等の三つのポリシー	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）
【推進組織】 大学院入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項, 優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-7	学生受入方 針、学生受入 に関するこ と。	学生受入方針に沿って、受入方法を採用して おり、実施体制により公正に実施しているこ と 【評価の観点】 ・入試の種類ごとに、入学者選抜の方法（学 力検査、面接等）が入学者選抜の基本方針に 適合しているか。 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要領、実 施マニュアル等は整備されているか。 ・面接、実技試験等において評価の公正性を 担保する組織的取組の状況を示す資料（面接 要領等）はあるか。	毎年度	なし	(優れた取組・成果等) 総合医薬学研究科博士前期課程先端薬科 学プログラム、博士後期課程先端薬科学 プログラム及び臨床薬学プログラムにお いて、入試ミス（出題ミス）の発生を防 止するため、志望分野ごとに作成してい た試験問題を1種類に統一した。 医薬理工学環では、入試ミス（出題ミ ス）の発生を防止するため、プログラム 間における入試問題を可能な限り統一し た。	(点検内容) ・大学院入学試験委員会規則に基づき、学生受入状 況及び入学者選抜の検証等を実施した。また、各研 究科等において、入学者選抜試験の実施に関する申 合せ等を定め、規則や実施要項等に基づき、公正に 入学者選抜を実施していることを確認した。 (根拠資料) ・入学者選抜の方法一覧 ・富山大学大学院入学試験委員会規則 ・富山大学入試検証委員会規則 ・各研究科等の入学者選抜試験の実施に関する申合 せ、入学試験実施マニュアル ・大学院医薬理工学環の入学試験の実施について ・富山大学大学院入学者選抜における疑義等の対応 に関する申合せ ・令和7年度（令和6年度実施）入学者選抜におけ る面接試験実施体制について ・オンライン入学者選抜試験における留意事項につ いて（令和6年3月21日大学院入学試験委員会） ・令和6年度実施の入学者選抜試験における情報共 有について ・令和7年度各研究科等選抜実施要項 ・富山大学入学者選抜試験における入試ミスの未然 防止並びに実施体制等の再確認について（令和6年 度第4回教育研究評議会資料4及び議事要旨） ・令和6年度第3回大学院入学試験委員会議事要録	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）
【推進組織】 大学院入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-8	学生受入方針、学生受入に関すること。	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てていること 【評価の観点】 ・入学者選抜等について検証するための組織や検証方法を確認できるか。 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等（改善のための情報収集等の取組を含む）があるか。	毎年度	なし		(点検内容) ・大学院入学試験委員会で学生の受入状況等について確認した。また、各研究科等で入学者選抜方法等の検証を行い、入学者選抜の変更を行った。 (根拠資料) ・富山大学大学院入学試験委員会規則(再掲) ・令和6年度富山大学入学者選抜試験の実施結果について（令和6年度第1回教育研究評議会資料5及び議事要旨） ・各研究科・学環内規等 ・令和9年度入学者選抜（人文社会芸術総合研究科心理学プログラム）に係る変更について（予告） ・令和6年度第14回大学院人文社会芸術総合研究科代議員会議事要旨 ・令和8年度大学院入学者選抜における選抜方法及び博士論文（医学）における外国語試験の変更について（予告） ・第9回大学院総合医薬学研究科医学系部会・大学院医学薬学教育部医学系部会議事要録 ・令和6年度第3回大学院入学試験委員会議事要録	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）
【推進組織】 大学院入学試験委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
4-9	学生受入方 針、学生受入 に関するこ と。	実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと 【評価の観点】 ・入学者数が適正であるか。 ・実入学者数が「入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組がなされているか。 ※学生募集を行う組織単位ごとの過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均が「1.3倍以上」又は「0.7倍未満」の場合は、「大幅に超える」又は「大幅に下回る」とする。 ※実入学者数には、秋期入学者のほか、国費留学生や外国政府派遣留学生等の入学者を含める。	毎年度	あり	(要改善事項) 実入学者が定員を大きく上回っているため、適正化を図る取組を行う必要がある。【総合医薬学研究科（博士後期課程）、医薬理工学環（博士前期課程、博士後期課程）】	(根拠資料) ・入学定員充足率（別紙様式：大学院） ・令和6年度富山大学入学者選抜試験の実施結果について（再掲）（令和6年度第1回教育研究評議会資料5及び議事要旨） ・令和6年度第3回大学院入学試験委員会議事要録	

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(5) 施設分野

【推進責任者】理事・副学長（施設担当）

【推進組織】施設マネジメント委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項，優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
5-1	施設に関する こと	教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること。	7年に1回 (1年目)	-	-	-	
5-2		施設・設備における安全性について、配慮していること。		-	-	-	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(6) ICT分野

【推進責任者】 理事・副学長（情報担当）

【推進組織】 情報委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
6-1	ICTに関するこ と	教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、 それが有効に活用されていること	毎年度	なし	-	・令和6年度学術情報基盤実 態調査（コンピュータ及び ネットワーク編） ・Moodle活用講習会（3月27 日実施） ・総合情報基盤センター広報 Vol. 20（発行前資料） <内容> ・学内ネットワーク利用状況 ・VPN接続利用状況 ・無線LAN基地設置状況 ・端末室利用状況 など	

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(7) 図書館分野

【推進責任者】 副学長（附属図書館担当）
【推進組織】 附属図書館運営委員会

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項，優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
7-1	図書館に関すること	大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること	機関別認証評価 受審前年度 及び変更時	なし	-	- 令和5年度学術情報基盤実態調査《大学図書館編》 - 附属図書館年次統計（令和5年度）	

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(8) 研究活動分野

【推進責任者】理事・副学長（研究担当）

【推進組織】研究推進機構会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項，優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
8-1	研究活動に関 すること	研究の実施に関して高等教育機関として相応しい規程、方針等が整備され、優れた成果を上げていること。	機関別認証評価 受審前年度	-	-	-	-
8-2		研究成果を継続的に生み出すための研究環境が十分に整備され、効果的に利用されていること。		-	-	-	-

2. 令和6年度自己点検・評価結果
(9) 教育の国際化分野

【推進責任者】理事・副学長（国際担当）

【推進組織】国際機構運営会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
9-1	教育の国際化 に関すること	留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること。 (機関別認証評価基準4-2-3)	毎年度	なし	(優れた取組・成果等) 国際機構が実施している次の2つの取組は、生活及び学習の両面から、学生自らが外国人留学生を支援することにより、日本人学生と外国人留学生の交流を促進し、双方のコミュニケーション能力養成にもつながっている。 ・主に新規渡日留学生の入居手続・住民登録などの生活支援を行う制度である国際サポーターは、創設してから5年目で、半年ごとに各15名程度募集しており、今年度は年間で33名を採用した。 ・外国人留学生の日本語学習支援制度であるNihongo Buddyは、今年度2年目の実施で、前期は応募者93名中25名を、後期は応募者81名中30名を採用した。 いずれの取組も応募者は多く、学生の国際交流への意欲がうかがえる。	留学生への生活支援の内容及び実施体制（別紙様式4-2-3）のとお	
9-2		提供された機会を利用して、正規学生が海外で学習していることを確認する。 (機関別認証評価基準6-5-5)	毎年度	なし	(優れた取組・成果等) 学術交流協定に基づく交換留学による派遣（3カ月以上）の他に、別紙のとおりの取組を実施し、学位及び単位を修得している。 ・経済学部では開南大学との間でダブルディグリープログラム(DDP)を実施しており、昨年度1名が、本学ではじめてのダブルディグリー学位を修得しているが、今年度も継続して、1名を新たに派遣している。 ・理工学研究科の学生1名がカメリーノ大学との博士課程DDPに参加し、3月下旬から新たに派遣予定である。 ・国際機構・国際課及び各部署で3か月以内の短期プログラムを各種企画実施し、学生のグローバル化推進に取り組んでいる。	国内学生海外派遣実績（別紙様式6-5-5）のとお	
9-3		教育の国際化の優れた取組により、その取組の目的に則した学習成果の向上が図られていること。 (機関別認証評価基準6-8-6)	毎年度	なし	(優れた取組・成果等) 学部1年次対象短期海外英語研修については、約60名のまとまった数の学生が同時期に参加できる機会を提供している。今年度は昨年度から継続して台湾、マレーシア、ニュージーランドと渡航先の選択肢を設け、文化などの違いだけでなく経済的負担も考慮している。また、来年度の実施に向けて、さらに多様性を拡大するために新たな渡航先を検討している。対面での実施が3年目となる今年度は、79名の申請者の中から成績に基づき60名を選抜しており、事前事後の学生の英語学習へのモチベーション向上につながる取組となっている。	国内学生海外派遣実績（別紙様式6-5-5）のとお	

2. 令和6年度自己点検・評価結果

(10) 地域貢献活動分野

【推進責任者】理事・副学長（地域貢献担当）

【推進組織】地域連携推進機構会議

点検 NO.	自己点検・ 評価項目	評価基準	点検 実施時期	点検結果 (要改善事項 有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
10-1	地域貢献活動 に関すること	教育研究活動を展開するうえで必要な施設・設備が、社会からの期待に対応して行う活動（例えば、公開講座・履修、大学図書館の一般市民利用、技術相談、学習機会としての社会貢献活動）に効果的に利用されていること	毎年度	なし	-	参考資料 社会からの期待に対応して行う活動一覧R6	

3. 令和6年度改善計画
(1) 教育課程分野

【推進責任者】 理事・副学長（教育担当）
【推進組織】 教育推進センター会議

自己点検・評価の結果, 改善が必要と確認された事項		改善計画	計画の 実施主体	改善計画の 進捗状況	備考
点検 No.	内容				
1-5	教育課程の編成が、体系性を有していない。	令和7年度中にナンバリングコードを付番できていない科目について教員に照会し、人文学部の科目ナンバリング一覧を完成させ、学生に周知する。	人文学部	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	【令和7年度進捗状況】 令和7年度実施科目に付番した上で、科目ナンバリング一覧を令和7年8月に学生に周知済。
1-32	成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	令和7年度中に成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）について、組織的に検証できる体制を構築する。	教育学部	☒ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	【令和7年度進捗状況】 根拠となる資料を教育学部教務委員会が検証することとし、令和7年9月開催の教育学部教授会で周知済。

3. 令和6年度改善計画

(4) 学生受入分野

【推進責任者】理事・副学長（入試担当）

【推進組織】大学院入学試験委員会

自己点検・評価の結果, 改善が必要と確認された事項		改善計画	計画の 実施主体	改善計画の 進捗状況	備考
点検 No.	内容				
4-9	実入学者が定員を大きく上回っているため、適正化を図る取組を行う必要がある。【総合医薬学研究科（博士後期課程）、医薬理工学環（博士前期課程、博士後期課程）】	・医薬理工学環博士前期課程は、令和5年度に完成年度を迎えたことから、大学院教育の更なる充実と入学定員の適正化を図るため、大学院全体の入学定員を見直し、入学定員を増員する。 ・総合医薬学研究科博士後期課程及び医薬理工学環博士後期課程は、令和6年度に設置し完成年度を迎えていないが、外国人や社会人を含めた入学者の増加を図る取り組みを行う。また、本学学部生や博士前期課程学生に対しては、博士号取得者のキャリアパスやSPRINGプログラム等の経済的支援について丁寧に説明し、進学者増加の取り組みを行う。	・総合医薬学研究科 ・医薬理工学環	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	医薬理工学環博士前期課程は対応済（令和8年度概算要求において文部科学省に申請）

4. 過年度改善計画の進捗状況報告
 (4) 学生受入分野

【推進責任者】 理事・副学長（入試担当）
 【推進組織】 大学院入学試験委員会

自己点検・評価の結果、 改善が必要と確認された事項		改善計画	計画の 実施主体	改善計画の 進捗状況	備考
確認年度	内容				
令和5年度	実入学者が定員を大きく上回っているため、適正化を図る取組を行う必要がある。 【持続可能社会創成学環、医薬理工学環】	大学院修士課程（博士前期課程）は、令和5年度に完成年度を迎えたことから、大学院教育の更なる充実と入学定員の適正化を図るため、大学院全体の入学定員を見直し、令和8年度から持続可能社会創生学環及び医薬理工学環における入学定員を増員する。	・持続可能社会創成学環 ・医薬理工学環	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()	令和8年度概算要求において文部科学省に申請

令和6年度内部質保証に係る自己点検・評価＜データ＞

No.	データ名称	質保証分野	点検No.	頁
①	標準修業年限内卒業・修了率及び 「標準修業年限×1.5年」以内卒業・修了率	教育課程	1-35	12
②	資格取得状況	教育課程	1-35	12
③	就職率及び進学率	教育課程	1-36	12
④	入学定員充足率及び収容定員充足率	学生受入	4-5 4-9	26 30
⑤	学生海外派遣実績	教育課程 教育の国際化	9-2	35

①標準修業年限内卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率

< 学士課程 >

教育研究上の基本組織	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人文学部	標準修業年限内入学者数(A)	185	180	174	179	177
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	156	163	151	159	155
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	84.3%	90.6%	86.8%	88.8%	87.6%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	188	196	185	180	174
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)	179	182	176	170	164
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	95.2%	92.9%	95.1%	94.4%	94.3%
人間発達科学部 < 令和4年度募集停止 > ※標準修業年限内の卒業（修了）率において、「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率と同様、単位取得満期退学した者は含まない。）	標準修業年限前入学者数(A)	182	180	173	177	175
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	166	163	167	158	157
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	91.2%	90.6%	96.5%	89.3%	89.7%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	176	177	182	180	173
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	167	169	171	170	169
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	94.9%	95.5%	94.0%	94.4%	97.7%
経済学部	標準修業年限前入学者数(A)	415	347	345	344	342
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	369	323	312	309	299
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	88.9%	93.1%	90.4%	89.8%	87.4%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	435	414	415	347	345
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	404	403	392	335	324
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	92.9%	97.3%	94.5%	96.5%	93.9%
理学部	標準修業年限前入学者数(A)	237	200	196	197	204
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	192	157	161	151	145
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	81.0%	78.5%	82.1%	76.6%	71.1%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	247	250	237	200	196
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	220	218	209	171	174
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	89.1%	87.2%	88.2%	85.5%	88.8%
医学部医学科（6年制）	標準修業年限前入学者数(A)	105	105	105	105	105
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	93	87	95	96	97
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	88.6%	82.9%	90.5%	91.4%	92.4%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	106	106	105	105	105
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	100	106	103	103	103
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	94.3%	100.0%	98.1%	98.1%	98.1%
医学部看護学科	標準修業年限前入学者数(A)	80	81	81	80	80
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	78	78	76	73	75
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	97.5%	96.3%	93.8%	91.3%	93.8%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	80	80	80	81	81
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	79	80	80	78	79
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	98.8%	100.0%	100.0%	96.3%	97.5%
薬学部薬学科（6年制） ※R7年9月標準修業年限内修了の対象者は、入学者数には含めているが、修了者および修了率には、含めていない。	標準修業年限前入学者数(A)	56	55	57	60	59
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	47	46	51	50	57
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	83.9%	83.6%	89.5%	83.3%	96.6%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	57	59	60	56	55
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	53	52	56	54	52
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	93.0%	88.1%	93.3%	96.4%	94.5%
薬学部創薬科学科	標準修業年限前入学者数(A)	52	51	55	54	50
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	42	41	46	45	39
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	80.8%	80.4%	83.6%	83.3%	78.0%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	54	54	52	51	55
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	52	49	45	45	48
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	96.3%	90.7%	86.5%	88.2%	87.3%
工学部	標準修業年限前入学者数(A)	424	371	378	373	374
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	384	311	307	293	299
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	90.6%	83.8%	81.2%	78.6%	79.9%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	422	434	424	371	378
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	397	399	405	339	346
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	94.1%	91.9%	95.5%	91.4%	91.5%
芸術文化学部	標準修業年限前入学者数(A)	115	116	118	112	116
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	101	98	93	92	95
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	87.8%	84.5%	78.8%	82.1%	81.9%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	118	125	115	116	118
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	112	115	110	107	105
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	94.9%	92.0%	95.7%	92.2%	89.0%
都市デザイン学部 地球システム科学科	標準修業年限前入学者数(A)		41	42	40	40
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)		36	36	33	27
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)		87.8%	85.7%	82.5%	67.5%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)				41	42
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)				38	40
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)				92.7%	95.2%
都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	標準修業年限前入学者数(A)		42	41	41	43
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)		33	35	33	34
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)		78.6%	85.4%	80.5%	79.1%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)				42	41
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)				38	38
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)				90.5%	92.7%
都市デザイン学部 材料システム工学科	標準修業年限前入学者数(A)		66	61	65	68
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)		51	53	59	56
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)		77.3%	86.9%	90.8%	82.4%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)				66	61
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)				58	57
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)				87.9%	93.4%
学士課程全体	標準修業年限前入学者数(A)	1851	1835	1826	1827	1833
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	1628	1587	1583	1551	1535
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	88.0%	86.5%	86.7%	84.9%	83.7%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	1883	1895	1855	1836	1824
	(C)のうち(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数(D)	1763	1773	1747	1706	1699
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	93.6%	93.6%	94.2%	92.9%	93.1%

※編入学、転入学、再入学者及び長期履修者は計上していない。

※転学部生は、入学者数を入学時所属に基づき、卒業・修了者を卒業・修了時所属に基づき計上した。

※標準修業年限内の卒業（修了）率において、「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率と同様、単位取得満期退学した者は含まない。

①標準修業年限内卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率

<大学院修士課程・博士前期課程>

教育研究上の基本組織	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人文社会芸術総合研究科 （修士課程）	標準修業年限内入学者数(A)				38	37
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)				35	31
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)				92.1%	83.8%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)					38
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)					36
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)					94.7%
総合医薬学研究科 （修士課程・ 博士前期課程）	標準修業年限内入学者数(A)				39	53
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)				36	44
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)				92.3%	83.0%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)					39
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)					36
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)					92.3%
理工学研究科 （修士課程・	標準修業年限内入学者数(A)				308	316
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)				285	291
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)				92.5%	92.1%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)					308
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)					287
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)					93.2%
持続可能社会創成学環 （修士課程）	標準修業年限内入学者数(A)				30	23
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)				28	14
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)				93.3%	60.9%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)					30
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)					28
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)					93.3%
医薬理工学環 （修士課程・ 博士前期課程）	標準修業年限内入学者数(A)				53	49
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)				51	43
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)				96.2%	87.8%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)					53
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)					51
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)					96.2%
修士・博士前期課程 全体	標準修業年限内入学者数(A)				468	478
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)				435	423
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)				92.9%	88.5%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)					468
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)					438
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)					93.6%

※R7年9月標準修業年限内修了の対象者は、入学者数には含めているが、修了者および修了率には、含めていない。

※編入学、転入学、再入学者及び長期履修者は計上していない。

※転学部生は、入学者数を入学時所属に基づき、卒業・修了者を卒業・修了時所属に基づき計上した。

※標準修業年限内の卒業（修了）率において、「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率と同様、単位取得満期退学した者は含まない。

①標準修業年限内卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率

< 専門職学位課程 >

教育研究上の基本組織	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教職実践開発研究科 （専門職学位課程）	標準修業年限内入学者数(A)	13	13	16	14	16
	標準修業年限内卒業（修了）者数(B)	12	13	16	14	16
	標準修業年限内卒業（修了）率(B/A)	92.3%	100%	100%	100%	100%
	「標準修業年限×1.5」年内前入学者数(C)	13	13	13	16	14
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）者(D)	13	13	13	16	14
	「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率(D/C)	100%	100%	100%	100%	100%

※編入学、転入学、再入学者及び長期履修者は計上していない。

※転学部生は、入学者数を入学時所属に基づき、卒業・修了者を卒業・修了時所属に基づき計上した。

※標準修業年限内の卒業（修了）率において、「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率と同様、単位取得満期退学した者は含まない。）

②資格取得状況

< 学士課程 >

教育研究上の基本組織	資格等	項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
医学部医学科	医師	卒業者数 (A)	106	103	113	110	107
		受験者数 (B)	106	103	113	109	107
		合格者数 (C)	103	97	110	104	105
		合格者数 (B/C)	97.2%	94.2%	97.3%	95.4%	98.1%
医学部看護学科	看護師	卒業者数 (A)	81	82	76	75	79
		受験者数 (B)	81	81	76	75	79
		合格者数 (C)	81	80	76	72	78
		合格者数 (B/C)	100.0%	98.8%	100.0%	96.0%	98.7%
	保健師	卒業者数 (A)	87	90	82	79	80
		受験者数 (B)	87	89	82	79	79
		合格者数 (C)	83	85	79	78	78
		合格者数 (B/C)	95.4%	95.5%	96.3%	98.7%	98.7%
	助産師	卒業者数 (A)	6	6	6	6	5
		受験者数 (B)	6	6	6	6	5
		合格者数 (C)	6	6	6	6	5
		合格者数 (B/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
薬学部薬学科	薬剤師	卒業者数 (A)	54	50	63	54	65
		受験者数 (B)	54	49	63	54	65
		合格者数 (C)	49	45	53	49	59
		合格者数 (B/C)	90.7%	91.8%	84.1%	90.7%	90.8%

※在学生のみ

③就職率及び進学率

< 学士課程 >

教育研究上の基本組織	項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
人文学部	卒業者 (A)	174	191	165	184	175
	進学者 (B)	8	10	5	6	6
	進学率 (B/A)	4.6%	5.2%	3.0%	3.3%	3.4%
	就職希望者 (C)	154	166	147	167	158
	就職者 (D)	142	158	143	159	155
	卒業者に対する就職率 (D/A)	81.6%	82.7%	86.7%	86.4%	88.6%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	92.2%	95.2%	97.3%	95.2%	98.1%
人間発達科学部 < 令和4年度募集停止 >	卒業者 (A)	170	169	172	164	170
	進学者 (B)	9	7	10	9	7
	進学率 (B/A)	5.3%	4.1%	5.8%	5.5%	4.1%
	就職希望者 (C)	153	154	155	146	158
	就職者 (D)	151	150	154	145	158
	卒業者に対する就職率 (D/A)	88.8%	88.8%	89.5%	88.4%	92.9%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	98.7%	97.4%	99.4%	99.3%	100.0%
経済学部	卒業者 (A)	411	354	340	333	335
	進学者 (B)	3	9	4	6	8
	進学率 (B/A)	0.7%	2.5%	1.2%	1.8%	2.4%
	就職希望者 (C)	375	318	319	313	310
	就職者 (D)	365	311	315	308	305
	卒業者に対する就職率 (D/A)	88.8%	87.9%	92.6%	92.5%	91.0%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	97.3%	97.8%	98.7%	98.4%	98.4%
理学部	卒業者 (A)	218	180	179	172	159
	進学者 (B)	97	75	84	98	94
	進学率 (B/A)	44.5%	41.7%	46.9%	57.0%	59.1%
	就職希望者 (C)	108	94	84	65	55
	就職者 (D)	105	92	79	63	54
	卒業者に対する就職率 (D/A)	48.2%	51.1%	44.1%	36.6%	34.0%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	97.2%	97.9%	94.0%	96.9%	98.2%
医学部医学科	卒業者 (A)	106	103	113	110	107
	進学者 (B)	0	0	0	0	0
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就職希望者 (C)	105	102	112	106	106
	就職者 (D)	105	102	112	106	106
	卒業者に対する就職率 (D/A)	99.1%	99.0%	99.1%	96.4%	99.1%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
医学部看護学科	卒業者 (A)	87	90	82	79	80
	進学者 (B)	8	9	2	5	1
	進学率 (B/A)	9.2%	10.0%	2.4%	6.3%	1.3%
	就職希望者 (C)	79	79	80	73	79
	就職者 (D)	79	79	80	73	79
	卒業者に対する就職率 (D/A)	90.8%	87.8%	97.6%	92.4%	98.8%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
医学部 計	卒業者 (A)	193	193	195	189	187
	進学者 (B)	8	9	2	5	1
	進学率 (B/A)	4.1%	4.7%	1.0%	2.6%	0.5%
	就職希望者 (C)	184	181	192	179	185
	就職者 (D)	184	181	192	179	185
	卒業者に対する就職率 (D/A)	95.3%	93.8%	98.5%	94.7%	98.9%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
薬学部薬学科	卒業者 (A)	54	50	63	54	65
	進学者 (B)	0	1	2	2	3
	進学率 (B/A)	0.0%	2.0%	3.2%	3.7%	4.6%
	就職希望者 (C)	54	47	60	52	61
	就職者 (D)	54	46	60	52	61
	卒業者に対する就職率 (D/A)	100.0%	92.0%	95.2%	96.3%	93.8%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%
薬学部創薬科学科	卒業者 (A)	49	42	50	49	44
	進学者 (B)	44	42	48	48	38
	進学率 (B/A)	89.8%	100.0%	96.0%	98.0%	86.4%
	就職希望者 (C)	5	0	2	0	6
	就職者 (D)	5	0	2	0	5
	卒業者に対する就職率 (D/A)	10.2%	0.0%	4.0%	0.0%	11.4%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	83.3%
薬学部 計	卒業者 (A)	103	92	113	103	109
	進学者 (B)	44	43	50	50	41
	進学率 (B/A)	42.7%	46.7%	44.2%	48.5%	37.6%
	就職希望者 (C)	59	47	62	52	67
	就職者 (D)	59	46	62	52	66
	卒業者に対する就職率 (D/A)	57.3%	50.0%	54.9%	50.5%	60.6%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	97.9%	100.0%	100.0%	98.5%

③就職率及び進学率

< 学士課程 >

教育研究上の基本組織	項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
工学部	卒業者 (A)	417	354	348	345	356
	進学者 (B)	223	238	221	230	213
	進学率 (B/A)	53.5%	67.2%	63.5%	66.7%	59.8%
	就職希望者 (C)	187	108	121	111	135
	就職者 (D)	184	106	121	110	135
	卒業者に対する就職率 (D/A)	44.1%	29.9%	34.8%	31.9%	37.9%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	98.4%	98.1%	100.0%	99.1%	100.0%
芸術文化学部	卒業者 (A)	109	108	103	102	108
	進学者 (B)	15	18	10	13	14
	進学率 (B/A)	13.8%	16.7%	9.7%	12.7%	13.0%
	就職希望者 (C)	89	84	72	76	81
	就職者 (D)	87	83	71	75	81
	卒業者に対する就職率 (D/A)	79.8%	76.9%	68.9%	73.5%	75.0%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	97.8%	98.8%	98.6%	98.7%	100.0%
都市デザイン学部 地球システム科学科	卒業者 (A)		36	38	34	31
	進学者 (B)		19	23	13	13
	進学率 (B/A)		52.8%	60.5%	38.2%	41.9%
	就職希望者 (C)		17	15	21	18
	就職者 (D)		17	15	21	18
	卒業者に対する就職率 (D/A)		47.2%	39.5%	61.8%	58.1%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	卒業者 (A)		33	39	40	41
	進学者 (B)		17	22	14	16
	進学率 (B/A)		51.5%	56.4%	35.0%	39.0%
	就職希望者 (C)		16	16	26	25
	就職者 (D)		15	16	26	25
	卒業者に対する就職率 (D/A)		45.5%	41.0%	65.0%	61.0%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)		93.8%	100.0%	100.0%	100.0%
都市デザイン学部 材料デザイン工学科	卒業者 (A)		52	63	66	59
	進学者 (B)		28	36	37	32
	進学率 (B/A)		53.8%	57.1%	56.1%	54.2%
	就職希望者 (C)		24	26	26	26
	就職者 (D)		24	26	26	26
	卒業者に対する就職率 (D/A)		46.2%	41.3%	39.4%	44.1%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
都市デザイン学部 計	卒業者 (A)		121	140	140	131
	進学者 (B)		64	81	64	61
	進学率 (B/A)		52.9%	57.9%	45.7%	46.6%
	就職希望者 (C)		57	57	73	69
	就職者 (D)		56	57	73	69
	卒業者に対する就職率 (D/A)		46.3%	40.7%	52.1%	52.7%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)		98.2%	100.0%	100.0%	100.0%
学士課程 全体	卒業者 (A)	1795	1762	1755	1732	1730
	進学者 (B)	407	473	467	481	445
	進学率 (B/A)					
	就職希望者 (C)	1309	1209	1209	1182	1218
	就職者 (D)	1277	1183	1194	1164	1208
	卒業者に対する就職率 (D/A)					
	就職希望者に対する就職率 (D/C)					

③就職率及び進学率

< 大学院修士課程・博士前期課程 >

教育研究上の基本組織	項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
人文社会芸術総合研究科 (修士課程)	卒業者 (A)				29	38
	進学者 (B)				5	4
	進学率 (B/A)				17.2%	10.5%
	就職希望者 (C)				19	31
	就職者 (D)				18	28
	卒業者に対する就職率 (D/A)				62.1%	73.7%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)				94.7%	90.3%
総合医薬学研究科 (修士課程・ 博士前期課程)	卒業者 (A)				35	47
	進学者 (B)				5	6
	進学率 (B/A)				14.3%	12.8%
	就職希望者 (C)				29	39
	就職者 (D)				29	39
	卒業者に対する就職率 (D/A)				82.9%	83.0%
理工学研究科 (修士課程・ 博士前期課程)	卒業者 (A)				273	304
	進学者 (B)				11	23
	進学率 (B/A)				4.0%	7.6%
	就職希望者 (C)				259	280
	就職者 (D)				259	280
	卒業者に対する就職率 (D/A)				94.9%	92.1%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)				100.0%	100.0%
持続可能社会創成学環 (修士課程)	卒業者 (A)				24	18
	進学者 (B)				1	3
	進学率 (B/A)				4.2%	16.7%
	就職希望者 (C)				23	13
	就職者 (D)				23	13
	卒業者に対する就職率 (D/A)				95.8%	72.2%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)				100.0%	100.0%
医薬理工学環 (修士課程・ 博士前期課程)	卒業者 (A)				47	47
	進学者 (B)				4	6
	進学率 (B/A)				8.5%	12.8%
	就職希望者 (C)				43	40
	就職者 (D)				42	39
	卒業者に対する就職率 (D/A)				89.4%	83.0%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)				97.7%	97.5%
修士・博士前期課程 全体	卒業者 (A)				408	454
	進学者 (B)				26	42
	進学率 (B/A)					
	就職希望者 (C)				373	403
	就職者 (D)				371	398
	卒業者に対する就職率 (D/A)					
	就職希望者に対する就職率 (D/C)					

③就職率及び進学率

< 専門職学位課程 >

教育研究上の基本組織	項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
教職実践開発研究科 (専門職学位課程)	卒業者 (A)	12	14	16	14	16
	進学者 (B)	0	0	0	0	0
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	就職希望者 (C)	12	14	16	14	16
	就職者 (D)	12	14	16	14	16
	卒業者に対する就職率 (D/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④入学定員充足率，收容定員充足率

< 学士課程 >

学部名	学科名	項目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	入学定員に対する平均比率	備 考
人文学部	人文学科	志願者数	673	905	934	787	866	102%	
		合格者数	191	213	206	215	211		
		入学者数(A)	177	188	192	188	197		
		入学定員(B)	170	188	188	188	188		
		入学定員充足率 (A/B)	104%	100%	102%	100%	105%		
		在籍学生数(C)	765	765	790	794	807		
		収容定員(D)	694	712	730	748	766		
		収容定員充足率 (C/D)	110%	107%	108%	106%	105%		
教育学部	共同教員養成課程	志願者数		279	461	247	205	105%	令和 4 年度 設置
		合格者数		96	94	92	91		
		入学者数(A)		92	86	88	90		
		入学定員(B)		85	85	85	85		
		入学定員充足率 (A/B)		108%	101%	104%	106%		
		在籍学生数(C)		92	177	264	354		
		収容定員(D)		85	170	255	340		
		収容定員充足率 (C/D)		108%	104%	104%	104%		
経済学部	経済経営学科	志願者数				1,163	1,133	102%	令和 6 年度 設置
		合格者数				377	374		
		入学者数(A)				339	344		
		入学定員(B)				335	335		
		入学定員充足率 (A/B)				101%	103%		
		在籍学生数(C)				339	681		
		収容定員(D)				335	670		
		収容定員充足率 (C/D)				101%	102%		
	経済学科 (昼間主コース)	志願者数	334	415	483			101%	令和 6 年度 募集停止
		合格者数	134	152	151				
		入学者数(E)	125	135	135				
		入学定員(F)	120	135	135				
		入学定員充足率 (E/F)	104%	100%	100%				
		在籍学生数 (G)	530	536	547	424	297		
		収容定員(H)	488	503	518	398	278		
		収容定員充足率 (G/H)	109%	107%	106%	107%	107%		
	経営学科 (昼間主コース)	志願者数	241	419	256			100%	令和 6 年度 募集停止
		合格者数	111	129	118				
		入学者数(E)	101	108	108				
		入学定員(F)	100	108	108				
		入学定員充足率 (E/F)	101%	100%	100%				
		在籍学生数 (G)	423	430	435	332	237		
		収容定員(H)	408	416	424	324	224		
		収容定員充足率 (G/H)	104%	103%	103%	102%	106%		
	経営法学科 (昼間主コース)	志願者数	194	272	182			101%	令和 6 年度 募集停止
		合格者数	92	99	114				
		入学者数(E)	86	93	92				
		入学定員(F)	85	92	92				
		入学定員充足率 (E/F)	101%	101%	100%				
		在籍学生数 (G)	354	357	368	284	198		
		収容定員(H)	344	351	358	273	188		
		収容定員充足率 (G/H)	103%	102%	103%	104%	105%		
	経済学科 (夜間主コース)	志願者数	35	38	62			107%	令和 6 年度 募集停止
		合格者数	13	13	12				
		入学者数(E)	10	12	10				
		入学定員(F)	10	10	10				
		入学定員充足率 (E/F)	100%	120%	100%				
		在籍学生数 (G)	49	46	44	31	22		
		収容定員(H)	40	40	40	30	20		
		収容定員充足率 (G/H)	123%	115%	110%	103%	110%		
	経営学科 (夜間主コース)	志願者数	33	36	33			107%	令和 6 年度 募集停止
		合格者数	11	12	14				
		入学者数(E)	10	10	12				
		入学定員(F)	10	10	10				
		入学定員充足率 (E/F)	100%	100%	120%				
		在籍学生数 (G)	42	40	41	32	22		
		収容定員(H)	40	40	40	30	20		
		収容定員充足率 (G/H)	105%	100%	103%	107%	110%		
	経営法学科 (夜間主コース)	志願者数	47	37	38			110%	令和 6 年度 募集停止
		合格者数	13	12	14				
		入学者数(E)	10	11	12				
		入学定員(F)	10	10	10				
		入学定員充足率 (E/F)	100%	110%	120%				
		在籍学生数 (G)	42	44	44	34	22		
		収容定員(H)	40	40	40	30	20		
		収容定員充足率 (G/H)	105%	110%	110%	113%	110%		
経済学部合計		志願者数	884	1,217	1,054	1,163	1,133	102%	
		合格者数	374	417	423	377	374		
		入学者数 (I)	342	369	369	339	344		
		入学定員 (J)	335	365	365	335	335		
		入学定員充足率 (I/J)	102%	101%	101%	101%	103%		
		在籍学生数 (K)	1,440	1,453	1,479	1,476	1,479		
		収容定員 (L)	1,360	1,390	1,420	1,420	1,420		
		収容定員充足率 (K/L)	106%	105%	104%	104%	104%		

④入学定員充足率，收容定員充足率

< 学士課程 >

学部名	学科名	項目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	入学定員に対する平均比率	備 考		
理学部	理学科	志願者数				652	1,414	104%	令和 6 年度 設置		
		合格者数				238	244				
		入学者数(A)				217	217				
		入学定員(B)				208	208				
		入学定員充足率 (A/B)				104%	104%				
		在籍学生数(C)				217	432				
		収容定員(D)				208	416				
		収容定員充足率 (C/D)				104%	104%				
	数学科	志願者数	357	297	163			104%	令和 6 年度 募集停止		
		合格者数	58	53	55						
		入学者数(E)	52	48	46						
		入学定員(F)	50	45	45						
		入学定員充足率 (E/F)	104%	107%	102%						
		在籍学生数 (G)	206	207	204	151	103				
		収容定員(H)	200	195	190	140	90				
		収容定員充足率 (G/H)	103%	106%	107%	108%	114%				
	物理学科	志願者数	313	365	310			107%	令和 6 年度 募集停止		
		合格者数	49	55	52						
		入学者数(E)	45	40	43						
		入学定員(F)	40	40	40						
		入学定員充足率 (E/F)	113%	100%	108%						
		在籍学生数 (G)	182	179	183	136	94				
		収容定員(H)	162	162	162	122	82				
		収容定員充足率 (G/H)	112%	110%	113%	111%	115%				
	化学科	志願者数	126	268	137			106%	令和 6 年度 募集停止		
		合格者数	42	42	45						
		入学者数(E)	37	36	38						
		入学定員(F)	35	35	35						
		入学定員充足率 (E/F)	106%	103%	109%						
		在籍学生数 (G)	155	156	153	120	89				
		収容定員(H)	142	142	142	107	72				
		収容定員充足率 (G/H)	109%	110%	108%	112%	124%				
	生物学科	志願者数	208	222	205			102%	令和 6 年度 募集停止		
		合格者数	40	45	44						
		入学者数(E)	37	38	38						
		入学定員(F)	35	38	38						
		入学定員充足率 (E/F)	106%	100%	100%						
		在籍学生数 (G)	152	150	153	116	82				
		収容定員(H)	142	145	148	113	78				
		収容定員充足率 (G/H)	107%	103%	103%	103%	105%				
	地球科学科	在籍学生数 (G)	9	1						平成30年度 募集停止 廃止済み	
		収容定員(H)									
		収容定員充足率 (G/H)									
	自然環境科学 科	志願者数	232	243	157			104%	令和 6 年度 募集停止 (令和 4 年度「生物圏 環境科学科」から名称 変更)		
		合格者数	34	40	44						
		入学者数(E)	33	35	36						
		入学定員(F)	30	35	35						
		入学定員充足率 (E/F)	110%	100%	103%						
		在籍学生数 (G)	131	135	142	111	80				
		収容定員(H)	122	127	132	102	72				
		収容定員充足率 (G/H)	107%	106%	108%	109%	111%				
理学部合計											
			志願者数	1,236	1,395	972	652	1,414	104%		
			合格者数	223	235	240	238	244			
			入学者数 (I)	204	197	201	217	217			
			入学定員 (J)	190	193	193	208	208			
			入学定員充足率 (I/J)	107%	102%	104%	104%	104%			
			在籍学生数 (K)	835	828	835	851	880			
			収容定員 (L)	768	771	774	792	810			
			収容定員充足率 (K/L)	109%	107%	108%	107%	109%			
医学部	医学科	志願者数	663	299	500	294	645	100%			
		合格者数	111	109	110	110	105				
		入学者数(A)	105	106	106	105	104				
		入学定員(B)	105	105	105	105	105				
		入学定員充足率 (A/B)	100%	101%	101%	100%	99%				
		在籍学生数(C)	665	670	668	665	667				
		収容定員(D)	655	655	655	655	655				
		収容定員充足率 (C/D)	102%	102%	102%	102%	102%				
	看護学科	志願者数	327	234	234	294	190	100%			
		合格者数	83	88	91	86	83				
		入学者数(E)	80	80	80	80	80				
		入学定員(F)	80	80	80	80	80				
		入学定員充足率 (E/F)	100%	100%	100%	100%	100%				
		在籍学生数 (G)	338	331	325	328	331				
		収容定員(H)	340	340	340	340	340				
		収容定員充足率 (G/H)	99%	97%	96%	96%	97%				
医学部合計			志願者数	990	533	734	588	835	100%		
			合格者数	194	197	201	196	188			
			入学者数 (I)	185	186	186	185	184			
			入学定員 (J)	185	185	185	185	185			
			入学定員充足率 (I/J)	100%	101%	101%	100%	99%			
			在籍学生数 (K)	1,003	1,001	993	993	998			
			収容定員 (L)	995	995	995	995	995			
			収容定員充足率 (K/L)	101%	101%	100%	100%	100%			

④入学定員充足率，收容定員充足率

< 学士課程 >

学部名	学科名	項目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	入学定員に対する平均比率	備 考
薬学部	薬学科	志願者数	376	415	468	369	374	103%	
		合格者数	63	76	75	78	76		
		入学者数(A)	58	70	72	70	73		
		入学定員(B)	55	70	70	70	70		
		入学定員充足率 (A/B)	105%	100%	103%	100%	104%		
		在籍学生数(C)	349	368	376	392	396		
		収容定員(D)	330	345	360	375	390		
		収容定員充足率 (C/D)	106%	107%	104%	105%	102%		
	創薬科学科	志願者数	153	150	137	127	137	108%	
		合格者数	62	40	41	44	43		
		入学者数(E)	50	40	35	39	40		
		入学定員(F)	50	35	35	35	35		
		入学定員充足率 (E/F)	100%	114%	100%	111%	114%		
		在籍学生数 (G)	209	204	184	168	159		
		収容定員(H)	200	185	170	155	140		
		収容定員充足率 (G/H)	105%	110%	108%	108%	114%		
薬学部合計		志願者数	529	565	605	496	511	104%	
		合格者数	125	116	116	122	119		
		入学者数 (I)	108	110	107	109	113		
		入学定員 (J)	105	105	105	105	105		
		入学定員充足率 (I/J)	103%	105%	102%	104%	108%		
		在籍学生数 (K)	558	572	560	560	555		
		収容定員 (L)	530	530	530	530	530		
		収容定員充足率 (K/L)	105%	108%	106%	106%	105%		
工学部	工学科	志願者数	1,933	1,245	1,380	1,103	1,379	103%	
		合格者数	409	425	425	443	441		
		入学者数(A)	374	395	381	409	412		
		入学定員(B)	365	380	380	395	395		
		入学定員充足率 (A/B)	102%	104%	100%	104%	104%		
		在籍学生数(C)	1,498	1,563	1,598	1,652	1,677		
		収容定員(D)	1,494	1,509	1,524	1,554	1,584		
		収容定員充足率 (C/D)	100%	104%	105%	106%	106%		
	電気電子システム工学科	在籍学生数(C)	12	6	1				平成30年度 募集停止 廃止済み
		収容定員(D)							
		収容定員充足率 (C/D)							
	知能情報工学科	在籍学生数(C)	10	3					平成30年度 募集停止 廃止済み
		収容定員(D)							
		収容定員充足率 (C/D)							
	機械知能システム工学科	在籍学生数(C)	15	2	1	1	1		平成30年度 募集停止
		収容定員(D)							
		収容定員充足率 (C/D)							
	生命工学科	在籍学生数(C)	5	4					平成30年度 募集停止 廃止済み
		収容定員(D)							
		収容定員充足率 (C/D)							
環境応用化学科	在籍学生数(C)	9	4	1				平成30年度 募集停止 廃止済み	
	収容定員(D)								
	収容定員充足率 (C/D)								
材料機能工学科	在籍学生数(C)	6	2	1				平成30年度 募集停止 廃止済み	
	収容定員(D)								
	収容定員充足率 (C/D)								
工学部合計		志願者数	1,933	1,245	1,380	1,103	1,379	103%	
		合格者数	409	425	425	443	441		
		入学者数 (I)	374	395	381	409	412		
		入学定員 (J)	365	380	380	395	395		
		入学定員充足率 (I/J)	102%	104%	100%	104%	104%		
		在籍学生数 (K)	1,555	1,584	1,602	1,653	1,678		
		収容定員 (L)	1,494	1,509	1,524	1,554	1,584		
		収容定員充足率 (K/L)	104%	105%	105%	106%	106%		

④入学定員充足率，收容定員充足率

< 学士課程 >

学部名	学科名	項目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	入学定員に対する平均比率	備 考
芸術文化学部	芸術文化学科	志願者数	527	424	457	423	483	105%	
		合格者数	129	129	129	128	132		
		入学者数(A)	116	114	115	115	115		
		入学定員(B)	110	110	110	110	110		
		入学定員充足率 (A/B)	105%	104%	105%	105%	105%		
		在籍学生数(C)	471	469	470	475	478		
		収容定員(D)	440	440	440	440	440		
		収容定員充足率 (C/D)	107%	107%	107%	108%	109%		
都市デザイン学部	地球システム 科学科	志願者数	219	213	225	175	162	103%	
		合格者数	45	44	45	44	45		
		入学者数(A)	40	42	41	42	40		
		入学定員(B)	40	40	40	40	40		
		入学定員充足率 (A/B)	100%	105%	103%	105%	100%		
		在籍学生数(C)	163	168	169	177	182		
		収容定員(D)	160	160	160	160	160		
		収容定員充足率 (C/D)	102%	105%	106%	111%	114%		
	都市・交通デザイン学科	志願者数	182	289	268	175	254	104%	
		合格者数	48	63	56	59	58		
		入学者数(E)	43	57	54	57	55		
		入学定員(F)	40	54	54	54	54		
		入学定員充足率 (E/F)	108%	106%	100%	106%	102%		
		在籍学生数 (G)	167	192	209	225	238		
		収容定員(H)	162	176	190	204	218		
		収容定員充足率 (G/H)	103%	109%	110%	110%	109%		
	材料デザイン 工学科	志願者数	290	245	293	204	175	105%	
		合格者数	76	81	76	74	72		
		入学者数(E)	68	65	68	68	65		
		入学定員(F)	60	65	65	65	65		
		入学定員充足率 (E/F)	113%	100%	105%	105%	100%		
		在籍学生数 (G)	258	272	276	276	281		
		収容定員(H)	244	249	254	259	264		
		収容定員充足率 (G/H)	106%	109%	109%	107%	106%		
都市デザイン学部合計		志願者数	691	747	786	554	591	104%	
		合格者数	169	188	177	177	175		
		入学者数 (I)	151	164	163	167	160		
		入学定員 (J)	140	159	159	159	159		
		入学定員充足率 (I/J)	108%	103%	103%	105%	101%		
		在籍学生数 (K)	588	632	654	678	701		
		収容定員 (L)	566	585	604	623	642		
		収容定員充足率 (K/L)	104%	108%	108%	109%	109%		

④入学定員充足率，収容定員充足率

<大学院課程>

研究科名	専攻名	項目	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	入学定員に対する平均比率	備 考
人文社会芸術 総合研究科	人文社会芸術 総合専攻（修士課程）	志願者数	58	56	65	70	95%	令和４年度 設置
		合格者数	41	40	42	41		
		入学者数(A)	38	37	37	33		
		入学定員(B)	38	38	38	38		
		入学定員充足率（A/B）	100%	97%	97%	87%		
		在籍学生数(C)	33	70	79	76		
		収容定員(D)	38	76	76	76		
		収容定員充足率（C/D）	87%	92%	104%	100%		
総合医薬学研究科	総合医薬学専攻（修士・博士前期課程）	志願者数	49	67	66	47	90%	令和４年度 設置
		合格者数	47	65	66	47		
		入学者数(A)	43	61	62	43		
		入学定員(B)	58	58	58	58		
		入学定員充足率（A/B）	74%	105%	107%	74%		
		在籍学生数(C)	41	99	117	120		
		収容定員(D)	58	116	116	116		
		収容定員充足率（C/D）	71%	85%	101%	103%		
	総合医薬学専攻（博士課程）	志願者数			48	48	135%	令和６年度 設置
		合格者数			47	46		
		入学者数(E)			47	45		
		入学定員(F)			34	34		
		入学定員充足率（E/F）			138%	132%		
		在籍学生数（G）			38	90		
		収容定員(H)			34	68		
		収容定員充足率（G/H）			112%	132%		
	総合医薬学専攻（博士後期課程）	志願者数			6	7	67%	令和６年度 設置
		合格者数			6	7		
		入学者数(E)			6	6		
		入学定員(F)			9	9		
		入学定員充足率（E/F）			67%	67%		
		在籍学生数（G）			5	12		
		収容定員(H)			9	18		
		収容定員充足率（G/H）			56%	67%		
総合医薬学研究科合計		志願者数	49	67	120	102	97%	
		合格者数	47	65	119	100		
		入学者数（I）	43	61	115	94		
		入学定員（J）	58	58	101	101		
		入学定員充足率（I/J）	74%	105%	114%	93%		
		在籍学生数（K）	41	99	160	222		
		収容定員（L）	58	116	159	202		
		収容定員充足率（K/L）	71%	85%	101%	110%		
理工学研究科	理工学専攻（博士前期課程）	志願者数	319	366	376	351	121%	令和４年度 設置
		合格者数	312	341	364	336		
		入学者数(A)	309	316	331	310		
		入学定員(B)	249	249	273	273		
		入学定員充足率（A/B）	124%	127%	121%	114%		
		在籍学生数(C)	299	613	655	650		
		収容定員(D)	249	498	522	546		
		収容定員充足率（C/D）	120%	123%	125%	119%		
	理工学専攻（博士後期課程）	志願者数			46	32	158%	令和６年度 設置
		合格者数			46	32		
		入学者数(E)			46	30		
		入学定員(F)			24	24		
		入学定員充足率（E/F）			192%	125%		
		在籍学生数（G）			19	73		
		収容定員(H)			24	48		
		収容定員充足率（G/H）			79%	152%		
理工学研究科合計		志願者数	319	366	422	383	123%	
		合格者数	312	341	410	368		
		入学者数（I）	309	316	377	340		
		入学定員（J）	249	249	297	297		
		入学定員充足率（I/J）	124%	127%	127%	114%		
		在籍学生数（K）	299	613	674	723		
		収容定員（L）	249	498	546	594		
		収容定員充足率（K/L）	120%	123%	123%	122%		
持続可能社会 創成学環	（修士課程）	志願者数	37	26	31	19	132%	令和４年度 設置
		合格者数	36	26	31	18		
		入学者数(A)	30	23	25	17		
		入学定員(B)	18	18	18	18		
		入学定員充足率（A/B）	167%	128%	139%	94%		
		在籍学生数(C)	26	45	45	50		
		収容定員(D)	18	36	36	36		
		収容定員充足率（C/D）	144%	125%	125%	139%		

④入学定員充足率，収容定員充足率

<大学院課程>

研究科名	専攻名	項目	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	入学定員に対する平均比率	備 考
医薬理工学環	(博士前期課程)	志願者数	53	54	64	52	141%	令和４年度 設置
		合格者数	53	54	62	50		
		入学者数(A)	53	50	60	45		
		入学定員(B)	37	37	37	37		
		入学定員充足率（A/B）	143%	135%	162%	122%		
		在籍学生数(C)	50	98	107	112		
		収容定員(D)	37	74	74	74		
		収容定員充足率（C/D）	135%	132%	145%	151%		
	(博士後期課程)	志願者数			7	4	46%	令和６年度 設置
		合格者数			7	4		
		入学者数(E)			7	4		
		入学定員(F)			12	12		
		入学定員充足率（E/F）			58%	33%		
		在籍学生数（G）			6	11		
		収容定員(H)			12	24		
		収容定員充足率（G/H）			50%	46%		
医薬理工学環合計		志願者数	53	54	71	56	129%	
		合格者数	53	54	69	54		
		入学者数（I）	53	50	67	49		
		入学定員（J）	37	37	49	49		
		入学定員充足率（I/J）	143%	135%	137%	100%		
		在籍学生数（K）	50	98	113	123		
		収容定員（L）	37	74	86	98		
		収容定員充足率（K/L）	135%	132%	131%	126%		
教職実践開発 研究科	教職実践開発 専攻 （専門職学位 課程）	志願者数	17	18	21	16	107%	
		合格者数	15	16	15	15		
		入学者数(A)	14	16	14	15		
		入学定員(B)	14	14	14	14		
		入学定員充足率（A/B）	100%	114%	100%	107%		
		在籍学生数(C)	30	30	30	29		
		収容定員(D)	28	28	28	28		
		収容定員充足率（C/D）	107%	107%	107%	104%		

④入学定員充足率及び収容定員充足率（編入学）

< 学士課程 >

学部名	学科名	項目	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	備 考
人文学部	人文学科	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	7	7	9	8	6	
		入学定員（３年次）	7	7	7	7	7	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
経済学部	経済学科 （昼間主 コース）	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	7	5	4	6	4	
		入学定員（３年次）	4	4	4	4	4	
		入学者数（４年次）						
	経営学科 （昼間主 コース）	入学定員（４年次）						
		入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	2	5	4	4	4	
		入学定員（３年次）	4	4	4	4	4	
	経営法学科 （昼間主 コース）	入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
		入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	1	2	2	2	1	
経済学部合計		入学定員（３年次）	2	2	2	2	2	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
		入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）						
理学部	物理学科	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	1	0	1	0	1	
		入学定員（３年次）	1	1	1	1	1	
		入学者数（４年次）						
	化学科	入学定員（４年次）						
		入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	1	1	0	1	1	
		入学定員（３年次）	1	1	1	1	1	
	生物学科	入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
		入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	1	1	1	1	0	
理学部合計	自然環境科 学科	入学定員（３年次）	1	1	1	1	1	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
		入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
	医学科	入学者数（３年次）	1	1	1	1	1	
		入学定員（３年次）	1	1	1	1	1	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
		入学者数（２年次）						
医学部	看護学科	入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）						
		入学定員（３年次）						
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
医学部合計		入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）						
		入学定員（３年次）						
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
工学部	工学科	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	11	12	15	12	11	
		入学定員（３年次）	17	17	17	17	17	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						

④入学定員充足率及び収容定員充足率（編入学）

< 学士課程 >

学部名	学科名	項目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	備 考
都市デザイン学部	地球システム科学科	入学者数（2 年次）						
		入学定員（2 年次）						
		入学者数（3 年次）						
		入学定員（3 年次）						
		入学者数（4 年次）						
	都市・交通デザイン学科	入学定員（4 年次）						
		入学者数（2 年次）						
		入学定員（2 年次）						
		入学者数（3 年次）	2	3	1	1	2	
		入学定員（3 年次）	1	1	1	1	1	
	材料デザイン工学科	入学者数（4 年次）						
		入学定員（4 年次）						
		入学者数（2 年次）						
		入学定員（2 年次）						
		入学者数（3 年次）	4	3	2	0	2	
都市デザイン学部合計		入学定員（3 年次）	2	2	2	2	2	
		入学者数（4 年次）						
		入学定員（4 年次）						
		入学者数（2 年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（2 年次）	0	0	0	0	0	
		入学者数（3 年次）	6	6	3	1	4	
都市デザイン学部合計		入学定員（3 年次）	3	3	3	3	3	
		入学者数（4 年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（4 年次）	0	0	0	0	0	
		入学者数（2 年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（2 年次）	0	0	0	0	0	
		入学者数（3 年次）	6	6	3	1	4	

※教育学部，薬学部，芸術文化学部は実施なし

⑤学生海外派遣実績

< 学士課程 >

教育研究上の 基本組織	年度	学生数			①協定に基づく日本人留学生数							②協定に基づかない日本人留学生数							日本人留 学生の割合 (B+C/A)	備考
		男	女	合計 (A)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月 未満	3 か 月以 上 6 か月 未満	6 か 月以 上 1 年未 満	1 年 以上	不明	合計 (B)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月 未満	3 か 月以 上 6 か月 未満	6 か 月以 上 1 年未 満	1 年 以上	不明	合計 (C)		
人文学部	令和4年度	282	483	765	20	3	4	3	0	0	30	0	1	0	0	0	0	1	31	4.1%
	令和5年度	278	512	790	33	1	3	2	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	39	4.9%
	令和6年度	257	537	794	18	11	6	3	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	38	4.8%
教育学部	令和4年度	40	52	92	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3.3%
	令和5年度	76	101	177	3	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	3	6	3.4%
	令和6年度	115	149	264	8	2	0	1	0	0	11	1	0	0	0	0	0	1	12	4.5%
経済学部	令和4年度	897	556	1453	17	4	4	2	1	0	28	0	0	0	1	0	0	1	29	2.0%
	令和5年度	918	561	1479	6	4	2	0	0	0	12	9	0	0	1	0	0	10	22	1.5%
	令和6年度	920	556	1476	12	4	1	2	0	0	19	6	0	0	0	0	0	6	25	1.7%
理学部	令和4年度	635	193	828	2	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0.5%
	令和5年度	651	184	835	8	2	0	0	0	0	10	0	2	0	1	0	0	3	13	1.6%
	令和6年度	651	200	851	15	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	15	1.8%
医学部医学科	令和4年度	412	258	670	11	0	0	0	0	0	11	1	0	0	0	0	0	1	12	1.8%
	令和5年度	394	274	668	12	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0	0	0	1	13	1.9%
	令和6年度	380	285	665	23	3	0	1	0	0	27	0	0	1	0	0	0	1	28	4.2%
医学部看護学科	令和4年度	16	315	331	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0.9%
	令和5年度	19	306	325	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
	令和6年度	18	310	328	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	0.6%
医学部 計	令和4年度	428	573	1001	14	0	0	0	0	0	14	1	0	0	0	0	0	1	15	1.5%
	令和5年度	413	580	993	13	0	0	0	0	0	13	1	0	0	0	0	0	1	14	1.4%
	令和6年度	398	595	993	24	3	0	1	0	0	28	1	0	1	0	0	0	2	30	3.0%
薬学部薬学科	令和4年度	177	191	368	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.5%
	令和5年度	185	191	376	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	1.6%
	令和6年度	187	205	392	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
薬学部創薬科学科	令和4年度	129	75	204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和5年度	120	64	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和6年度	105	63	168	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2	1.2%
薬学部 計	令和4年度	306	266	572	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.3%
	令和5年度	305	255	560	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	1.1%
	令和6年度	292	268	560	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	3	0.5%
工学部	令和4年度	1360	224	1584	7	1	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	1	9	0.6%
	令和5年度	1358	244	1602	14	1	0	0	0	0	15	0	1	0	1	0	0	2	17	1.1%
	令和6年度	1385	268	1653	8	2	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0.6%
芸術文化学部	令和4年度	102	367	469	5	0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	1.3%
	令和5年度	102	368	470	9	1	0	1	0	0	11	0	0	0	1	0	0	1	12	2.6%
	令和6年度	95	380	475	3	3	0	2	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	1.7%
都市デザイン学部 地球システム科学科	令和4年度	131	37	168	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和5年度	134	35	169	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.6%
	令和6年度	143	34	177	4	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	2.8%
都市デザイン学部 都市・交通デザイン学 科	令和4年度	138	54	192	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	3	1.6%
	令和5年度	148	61	209	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	1.4%
	令和6年度	164	61	225	2	3	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	2.2%
都市デザイン学部 材料デザイン工学科	令和4年度	237	35	272	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0.4%
	令和5年度	239	37	276	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4%
	令和6年度	244	32	276	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	0.7%
都市デザイン学部 計	令和4年度	506	126	632	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	2	4	0.6%
	令和5年度	521	133	654	4	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0.8%
	令和6年度	551	127	678	7	4	0	0	0	0	11	0	0	0	1	0	0	1	12	1.8%
学士課程全体	令和4年度	4,556	2,840	7,396	72	9	9	6	1	0	97	2	2	0	1	1	0	6	103	1.4%
	令和5年度	4,622	2,938	7,560	96	10	5	3	0	0	114	13	3	0	4	0	0	20	134	1.8%
	令和6年度	4,664	3,080	7,744	97	29	7	9	0	0	142	8	1	1	1	0	0	11	153	2.0%

⑤学生海外派遣実績
<大学院課程>
(修士課程・博士前期課程)

教育研究上の 基本組織	年度	学生数			①協定に基づく日本人留学生数							②協定に基づかない日本人留学生数							日本人留 学生の割合 (B+C/A)	備考
		男	女	合計 (A)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月	3 か 月以 上 6 か月	6 か 月以 上 1 年未	1 年 以上	不明	合計 (B)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月	3 か 月以 上 6 か月	6 か 月以 上 1 年未	1 年 以上	不明	合計 (C)		
人文社会芸術総合研究科 (修士課程)	令和4年度	16	17	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和5年度	33	37	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和6年度	34	45	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合医薬学研究科 (修士課程・博士前期課程)	令和4年度	23	18	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和5年度	52	47	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和6年度	62	55	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
理工学研究科 (修士課程・博士前期課程)	令和4年度	259	40	299	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0.3%
	令和5年度	540	73	613	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.3%
	令和6年度	570	85	655	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
持続可能社会創成学環 (修士課程)	令和4年度	22	4	26	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3.8%
	令和5年度	33	12	45	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4.4%
	令和6年度	27	18	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
医薬理工学環 (修士課程・博士前期課程)	令和4年度	39	11	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和5年度	69	29	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1.0%
	令和6年度	77	30	107	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.9%
修士課程・博士前期課程 全体	令和4年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和5年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和6年度	770	233	1003	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1%

(博士課程)

教育研究上の 基本組織	年度	学生数			①協定に基づく日本人留学生数							②協定に基づかない日本人留学生数							日本人留 学生の割合 (B+C/A)	備考
		男	女	合計 (A)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月	3 か 月以 上 6 か月	6 か 月以 上 1 年未	1 年 以上	不明	合計 (B)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月	3 か 月以 上 6 か月	6 か 月以 上 1 年未	1 年 以上	不明	合計 (C)		
総合医薬学研究科 (博士後期課程)	令和4年度											0	0	0	0	0	0	0		
	令和5年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和6年度	2	3	5	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	40.0%
総合医薬学研究科 (博士課程)	令和4年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和5年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和6年度	26	12	38	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2.6%
理工学研究科 (博士課程・博士後期課程)	令和4年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和5年度											1	0	0	0	0	0		0	
	令和6年度	17	2	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
医薬理工学環 (博士課程・博士後期課程)	令和4年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和5年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和6年度	5	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
博士課程・博士後期課程 全体	令和4年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和5年度											0	0	0	0	0	0		0	
	令和6年度	50	18	68	0	2	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	4.4%

<専門職学位課程>

教育研究上の 基本組織	年度	学生数			①協定に基づく日本人留学生数							②協定に基づかない日本人留学生数							日本人留 学生の割合 (B+C/A)	備考
		男	女	合計 (A)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月	3 か 月以 上 6 か月	6 か 月以 上 1 年未	1 年 以上	不明	合計 (B)	1 か 月未 満	1 か 月以 上 3 か月	3 か 月以 上 6 か月	6 か 月以 上 1 年未	1 年 以上	不明	合計 (C)		
教職実践開発研究科 (専門職学位課程)	令和4年度	21	9	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和5年度	22	8	30	6	0	0	0	0	0	6	8	0	0	0	0	0	8	14	46.7%
	令和6年度	17	13	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%